

成人のワクチン接種 に対する意識の向上



キャンペーン概要：日本

著者

Ms. Yifan Zheng
Dr. Jane Barratt



目次

概要	1
人口統計データ	2
背景	2
政府のキャンペーン	2
インフルエンザワクチンのキャンペーン実施状況	4
参考文献	5



概要

日本においては、高齢者および慢性疾患の患者に対するインフルエンザのワクチン接種が強く推奨されており、部分的に政府が負担しています。65歳以上の日本国民、および、一定の器質障害または免疫不全症を持ち日常の活動に支障のある60～64歳の国民は、地域の予防接種スケジュールに基づき、毎年のインフルエンザワクチンを無料で、あるいは助成を受けて接種することができます。

国レベルでは、厚生労働省が毎年のインフルエンザキャンペーンを率い、地方自治体および医療機関によるインフルエンザワクチンの意識向上活動の導入を監督したり、導いたりする役目を担っています。インフルエンザワクチンに関する一般市民向けメッセージと、高齢者向けに特別に作成されたメッセージを伝達するためのいくつかのキャンペーンツールが用意されています。ツールには、ウェブページ、リーフレット、動画、公開シンポジウム、相談ホットラインなどが含まれます。

一般に、民間組織は、成人のワクチン接種の重要性に関する公開コミュニケーションや意識を形作ったりそれらに影響を与えたりするような強力な声には至っていません。また、患者団体や高齢者団体にしても、重度の合併症、入院、死亡のリスクの高い構成員に向けて発信されるメッセージが大きく欠如しているようです。

現在のメッセージの内容は、咳エチケットや手洗い、マスク着用などかなりの（偏った）重点がおかれ、最も効果的な対策であるワクチン接種があまり強調されていません。日本におけるインフルエンザワクチンの報道が最適とは言えない状況を考慮すると、インフルエンザワクチン接種を優先させることこそが、日本の意識向上キャンペーンにおいて強く推奨されます。

人口統計データ

2018年、日本の推定人口は1億2,650万人で、そのうち15歳以下は約12.8%、65歳以上は27.5% (3,480万人)でした。低い出生率により、2050年までに日本の総人口は14.8%減少し、3人に1人 (36.4%) が65歳以上になると予想されています。

日本の人口の急速な高齢化と平行して、非感染性疾患 (NCDs) の患者は過去に類をみないほど増加し、2016年には日本の死亡者数の82%が非感染性疾患によるものと推定されています。心血管疾患、呼吸器疾患、および糖尿病を合わせると、日本の全死亡者数の37%を占めています。

背景

インフルエンザは毎年日本で何百万人もが感染し、高齢者は特にこの感染症で重症化しやすい傾向があります。2018年9月から2019年1月下旬の2018~2019年インフルエンザ流行期には、12,642人がインフルエンザで入院しましたが、そのうち約63%が60歳以上でした。

高齢者、とりわけ慢性疾患を抱える高齢者がインフルエンザとその合併症に対するハイリスク群であるという事実にもかかわらず、2017年には51%がインフルエンザのワクチンを接種していませんでした。

日本では、厚生労働省が予防接種法に支えられた国民予防接種プログラムの調整と監視を行っています。厚生労働省は毎年、インフルエンザ総合対策を発表し、来るべきインフルエンザ流行期に向けた政府の計画、準備、行動、さらに毎年の意識向上キャンペーンの方策を打ち出します。この総合対策は、地方自治体と医療機関の手引きとなって働きかけ、インフルエンザワクチンに関する啓発運動計画の導入を奨励しています。

また、厚生労働省は、ウェブページやリーフレット、動画などを含む啓発ツールを作成し、公共のシンポジウムを開催し、相談窓口を設置して、インフルエンザワクチンに関するメッセージを一般市民に、そして高齢者向けメッセージを高齢者に伝達しています。

政府のキャンペーン

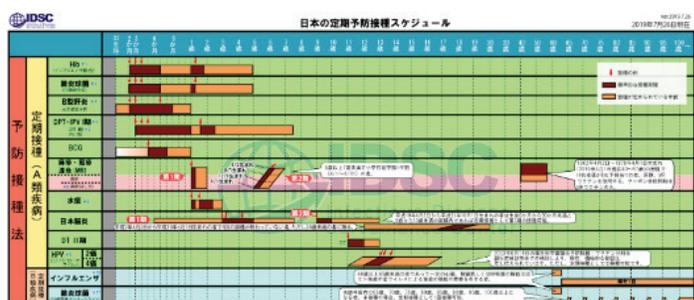
国民予防接種プログラム

日本の国民予防接種プログラムは、予防接種法のもとで作成され管理されています。予防接種法の2001年改正において、インフルエンザワクチンは65歳以上の人と、心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能に障害のある、あるいは免疫機能に障害のある60~64歳の人を受けられる政府出資の定期予防接種となりました。

この改正では、優先度の高い指定グループに対するインフルエンザワクチンを市町村が責任を持って無料で提供、あるいは助成するよう求めています。

インフルエンザワクチン、および、その他の政府出資のワクチンは、国民予防接種スケジュールに掲載されています。同スケジュールは、どのワクチンを何歳で接種すべきかを示した信頼性の高い情報源です。

図1: 国民予防接種スケジュール



ウェブページ

厚生労働省は、そのウェブサイトで、インフルエンザに関する様々な質問の答えを掲載しています。このオンラインQ&Aは、インフルエンザの病因と症状、予防、治療、ワクチンの種類、副反応、さらに推奨する接種スケジュールなどトピックごとに整理されています。

リスクの高い成人は、地方自治体の優先順位により、最小費用もしくは無料で、毎年のインフルエンザワクチンを接種できるというのが、ウェブページで一貫して伝達されている主要メッセージです。

リーフレット

厚生労働省が発行している数種類のリーフレット（チラシ）では、一般市民、高齢者、とりわけ老人介護施設で働く医療従事者におけるインフルエンザ予防の重要性について言及されています。

一般市民用リーフレットは全員向けで、インフルエンザについてのよくある10の質問と答えや、インフルエンザの症状、防止、治療についてのアドバイスが記載されています。感染および関連する合併症のリスクを軽減する上でのインフルエンザワクチンの効果は、重症化しやすい人にとってのワクチンの有用性ととも、明確に解説されています。

また、高齢者向けに特別に作成されたリーフレットもあり、インフルエンザワクチンの副反応に関する誤った通念を払拭し、ワクチンの重要性と効果を強調しています。この情報シートにおける重要なメッセージは、日本の高齢者が無料で、あるいは助成を受けてワクチンの接種を受けることができるということです。

図2: リーフレット

高齢者のインフルエンザは重症化することがあります。
流行する前のワクチン接種などが有効です。

インフルエンザとは

インフルエンザは「インフルエンザウイルス」に感染して起きます。38℃以上の発熱、頭痛や関節・筋肉痛など全身の症状が急に現れ、高齢の方や種々の慢性疾患を持つ方は肺炎を伴うなど重症化することがあります。

インフルエンザを予防する有効な方法

1 流行前のワクチン接種が有効です

ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が1/5に、入院の危険が約1/3から1/2にまで減少することが期待できるとされています。現行ワクチンの安全性はきわめて高いと評価されています。

2 手洗いやアルコール製剤による手指衛生も有効です

手洗いで付着したウイルスを洗い落とすことや、アルコール製剤による手指の消毒もインフルエンザウイルスに対して有効です。



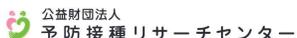
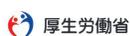
3 感染を広げないために“咳エチケット”を心がけてください

インフルエンザは、主に、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴（飛沫）によって感染します（飛沫感染）。普段から“咳エチケット”（①他の人に向けて咳やくしゃみをしない、②咳やくしゃみが出る時はマスクをする、③手のひらで咳やくしゃみを受け止めたら手を洗うことなど）を心がけてください。



医療機関名

詳細については、お住まいの市区町村にお問い合わせください。



動画

一般の人々にインフルエンザとワクチンの重要性について周知させることが、厚生労働省が作成した動画の焦点です。動画では、視覚的メッセージと話し言葉によるメッセージの両方を使用し、より良く理解してもらえるようになっています。

動画の中では、特に感染による影響を受けやすい人として、高齢者、子供、妊婦、特定の慢性疾患のある人たちがあげられています。

相談ホットライン

感染症とワクチンに関する相談ホットライン（電話による窓口）が厚生労働省によって設置され、インフルエンザ予防、流行状況、ワクチンの効果と副反応に関する問い合わせに対応しています。¹⁰

公開シンポジウム

2017年、日本政府は前線の研究者と医療専門家からなる専門的なシンポジウムを開催しました。そこでは、インフルエンザと将来のワクチン開発について最先端の研究が発表されました。このシンポジウムの目的は、インフルエンザについての一般の意識を高め、予防対策について話し合うことでした。また、同シンポジウムは、自分と周囲の人を流行から守る上で、国民一人ひとりが持つ責任に特別な注意を喚起しました。

国民インフルエンザワクチンのキャンペーン実施状況

徹底した方針とプログラム	インフルエンザワクチンは、政府と諮問機関により、高齢者及び慢性疾患を抱える人を含むハイリスク群の接種が推奨されている	
	インフルエンザワクチン接種は、国民予防接種プログラムにより国が出資し、高齢者および慢性疾患を持つ人を含むハイリスク群を対象とした国のプログラムによって実施されている	
明確なコミュニケーション戦略	状況に合わせたコミュニケーション戦略と行動計画を公開し、コミュニケーションの目標、対象集団、提携組織に期待される役割、コミュニケーションツール、行動日程などを明確にしている	
特定された対象	一般集団（年齢や基礎疾患にかかわらない一般集団）に配布される普遍的なメッセージ	
	特定のハイリスク群向けの情報	
複数のツールとチャネル	ウェブサイトのコンテンツ、デジタル技術、ソーシャルメディア、オンライン出版、電子メールなど、オンラインでの情報伝達	
	テレビ、ラジオ、印刷物（リーフレット、ポスター、パンフレット、屋外広告）による、オフラインでの情報伝達	
	個人の相談、街頭キャンペーン、対面動員などのインタラクティブ（相互作用的）なコミュニケーション	
現実的タイムライン	しかるべき時期に発せられるインフルエンザ流行期の警告やワクチン接種のお知らせ	
	国民ワクチンデー、ワクチンウィーク、ワクチン月間など、集中的な意識向上キャンペーンのために計画された全国的あるいは地域的なイベント	
情報の定期的な更新	特定の接種者を対象に新たに認可されたワクチンを推奨するなど、最新のエビデンスや方針を反映して、情報が定期的に更新されている	
民間組織の関わりやサポート	患者団体、高齢者団体、支援団体が発する、インフルエンザに関する情報	

 整備されている  部分的に整備されている  整備されていない、証拠なし

参考文献

1. Health Nutrition and Population Statistics | DataBank. (n.d.). Retrieved 16 August 2019, from <https://databank.worldbank.org/source/health-nutrition-and-population-statistics>.
2. Population Estimates and Projections | DataBank. (n.d.). Retrieved 29 August 2019, from <https://databank.worldbank.org/source/population-estimates-and-projections>.
3. Noncommunicable Diseases Country Profiles 2018 | WHO. (n.d.). Retrieved 26 August 2019, from <http://www.who.int/nmh/countries/en/>.
4. Japan Gripped by Major Flu Outbreak | Nippon.Com. (n.d.). Retrieved 17 September 2019, from <https://www.nippon.com/en/japan-data/h00386/japan-gripped-by-major-flu-outbreak.html>.
5. Number of Regular Immunizations | Ministry of Health, Labor and Welfare. (n.d.). Retrieved 17 September 2019, from <https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html>.
6. Enami, T., & Otsubo, H. (2010). The Current State of Immunization Administration in Japan. 53(2), 7.
7. Factors Associated with Seasonal Influenza Vaccine Uptake among Children in Japan | BMC Infectious Diseases [Text]. (n.d.). Retrieved 17 September 2019, from <https://bmcinfectdis.biomedcentral.com/articles/10.1186/s12879-015-0821-3>.
8. Hirota, Y., & Kaji, M. (2008). History of influenza vaccination programs in Japan. *Vaccine*, 26(50), 6451 – 6454. <https://doi.org/10.1016/j.vaccine.2008.06.042>
9. 国立感染症研究所. (n.d.). Retrieved 17 September 2019, from <https://www.niid.go.jp/niid/ja/component/content/article/320-infectious-diseases/vaccine/2525-v-schedule.html>.
10. インフルエンザQ&A | 厚生労働省. (n.d.). Retrieved 18 September 2019, from <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>.
11. Enlightenment Tool | Ministry of Health, Labor and Welfare. (n.d.). Retrieved 18 September 2019, from <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>.
12. YouTube. (n.d.). Retrieved 12 September 2019, from <https://www.youtube.com/watch?v=rMICHIDfROI>.
13. 公開シンポジウム 新興感染症と向き合う最新の研究と市民の対策 | 政府インターネットテレビ | 政府インターネットテレビ. (n.d.). Retrieved 18 September 2019, from <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg15229.html>.

CHANGING THE CONVERSATION ON ADULT INFLUENZA VACCINATION

vaccines4life.com/changing-the-conversation/

